

## 石巻（雄勝地区）支援活動報告

### 「冬を元気に」

- 目 的 仮設住宅生活を始められた雄勝町の方々。初めて迎える仮設での寒い季節を、少しでも安心して迎えられるよう、冬服や冬の生活用品等をお届けする。（楽しく選んでいただくひとときとなるよう工夫をしました。）
- 内 容 冬物衣料（紳士・婦人・子供）・防寒具・冬物下着・冬物陶器等日用品（ダンボール80個）・ハンガー15個・ストーブ4台。
- 日 時 9月31日（金）～10月2日（日）
- 場 所 石巻市相野谷五味前上40飯野川校団地
- 参加者 長尾・利・野島・斉藤・小島・大木2名
- 会 場 飯野川校仮設住宅集会場

快晴に恵まれた2日間。仮設住宅付属の集会場は3室あります。その準備に、住民の方も手伝っていただきました。



大分類しハンガーに次から次と掛けてゆきます。広いと思った部屋もどんどん狭くなってきます。こちらでも協力者して下さる方がいました。会場前から住民の方々が待っていてくださいました。



「冬の陶器がなくて」の声に。ドンブリ、急須、マグカップ etc. 陶器は人気がありました。

「どれが良いかしら・・・サイズは？」 「どうか邪魔にならない程度にいっぱいお持ちください。」



元幼稚園先生、野島さん「子供たち、こちらへいらっしゃ〜い」

5人家族、選んだ服のお届けサービスもさせていただきました。



だいぶ少なくなりました。明日も来てくれますように。  
(その心配もよそに、翌日も行列が出来ました。)



外では、区長さんや男性諸氏が、片付けの出番を待っていてくださったのです。



キャラバンには満載の空き段ボール。提供者のがんばれの気持ちも一緒に受けとられ、元気の元になりますように。

#### まとめ

まだ、人の行き交うことのない雄勝町、そして立浜地区。「きれいな海も人もきっと戻ってくると信じて待つ。」と仮設で暮らす漁師さんの奥さんが話してくれた。

仮設住宅は、やはり一時的なシェルター。とにかく、次に住むところをどうにかするという大仕事も待っています。

寒くなれば、なおのこと引きこもりがちになるのは目に見えるようです。ちょっとそこまで買い物にという生活はありません。食料品、生活用品の調達にも気力がいる事です。

なんとか元気にこの冬を過ごしていただきたい。心の繋がりをもち続けてゆきたいと願っています。

日本を美しくする会  
東京掃除に学ぶ会  
世話人 大木ひろみ